

特待入試第1回算数模範解答（模範解答P.10）を以下の通り差し替えます。

2024年度 特待入試第1回

算数解答用紙

1	(1) 59	(2) $1\frac{3}{8}$	(3) 9	(4) 1
	(5) 1.111	(6) 150	(7) 12	(8) 20分 24秒

2	(1) 33	(2) 150 g	(3) 10 人	(4) 16 人
	(5) 12 分間	(6) 200 円	(7) 36.48 cm ²	(8) 32 cm ³

3	(1) (式または考え方) 下から 4段目の立方体の個数は 1個 3段目の立方体の個数は $1+2=3$ 個 2段目の立方体の個数は $1+2+3=6$ 個 1段目の立方体の個数は $1+2+3+4=10$ 個 立方体1個の体積は 1cm^3 なので求める体積は $1+3+6+10=20\text{ (cm}^3\text{)}$	(2) (式または考え方) この立体を 前後左右上下の6方向から見たときに、正方形がいつも10面見える。 正方形の面積は 1cm^2 なので求める表面積は $(1+2+3+4)\times6=10\times6=60\text{ (cm}^2\text{)}$
	(答) 20 cm ³	(答) 60 cm ²

4	(1) (式または考え方) 排水管 A,B が同じ時間で排水する量の比は $16:12=\textcircled{4}:\textcircled{3}$ 排水管 A で排水し、水缸が空になったとき、排水管 B は $\textcircled{4}-\textcircled{3}=\textcircled{1}$ の分の水だけが残っている。 $\textcircled{1}$ は $12\times6=72\text{ L}$ にあたるので 水缸にたまっていた水の量は $\textcircled{4}\times72=288\text{ L}$	(2) (式または考え方) 1分間で水が減る量は、排水管 A のみの場合は $16-10=6\text{ L}$ 排水管 A のみで減る水の量は $6\times30=180\text{ L}$ 残りは $288-180=108\text{ L}$ 残りの水は 排水管 B で排水するので、かかる時間は $108\div12=9\text{ 分間}$ よって排水管 A のみの時間は $30-9=21\text{ 分間}$
	(答) 288 L	(答) 21 分間

受験番号	* 評 点

(*印の評点らんには、何も書かないこと)